

## 日本ビデオコミュニケーション協会 大竹理事長 新年の挨拶



理事長 大竹和夫

JAVCOM 会員の皆様、新年あけましておめでとうございます。旧年中は、会員の皆様方の積極的な活動により充実した内容のセミナーや勉強会を多数開催する事が出来ました事を感謝申し上げます。

本年もJAVCOM の活動により一層の御協力をお願い申し上げます。

JAVCOMの発足は、映像収録手法がフィルム撮影からビデオ撮影への転換期となった1980年当初、CM撮影と言えば35mmフィルムカメラが一般的でしたが1インチ撮像管を採用した3管式テレビカメラとAMP EX社の2インチビデオテープを使用したポータブルVTRを使用した制作手法で制作した小学館の雑誌「ピカピカの1年生」のCMが一斉風靡しました。

フィルム撮影全盛の時代にビデオ撮影によるライブ感を積極的に推進したメンバーが中心となって映像関連産業に関する調査や研究そして情報収集など目的としJAVCOMが発足しました。

その後、金丸前理事長や相原前常任幹事長を始めとする皆様方の御尽力で2004年に東京都生活文化局傘下のNPO法人と

して新たなスタートを切って映像情報産業に関する調査・研究・セミナーの開催、人材育成、情報の収集、映像情報産業の発展を促し、わが国の文化向上に寄与することを目的として活動分野としては、社会教育・学術・文化・芸術・スポーツ・情報科学・科学技術の振興等を中心に活動し現在に至っております。

昨年、11月には、幕張メッセで開催されましたInterBEE2019には、JAVCOMとして3回目となるブース出展を行いました。今回は、東放学園の学生の皆様方にJAVCOMブースに集合して頂きJAVCOMメンバーが主要ブースの引率などを行いました。

今年度は、産学共同での見学会などさらに進めて行く所存です。

さて2020年は、56年ぶりの日本開催となります東京オリンピック・パラリンピック開催の年となります。JAVCOMセミナーに於いてもオリンピックイヤーに相応しいテーマのセミナーも企画したいと考えておりますので会員の皆様本年も何卒宜しくお願い申し上げます。

NPO法人日本ビデオコミュニケーション協会  
理事長 大竹 和 夫

# ～ソフト制作研究委員会 2019年10月勉強会～ 「モーションキャプチャスタジオ見学会」



開催日：令和元年10月29日（火）16:00～

場 所：(株)ダイナモピクチャーズ

東京都千代田区神田淡路町2-21

淡路町MHビル

参加者：10名（懇親会：8名）

講 師：株式会社ダイナモピクチャーズ 布川 茂明様

10月29日、ソフト制作研究委員会の主催により『モーションキャプチャスタジオ見学会』を開催しました。

『モーションキャプチャー』についてはご存知の方も多いたとは思いますが改めておさらい。

モーションキャプチャーとは、3次元グラフィックスにおける開発手法のひとつで、人間などの動きを測定してコンピューターに取り込む技法のことです。昔、CGのキャラクターに動きを付ける場合は人間がポーズングを数コマ単位で付けて動きを再現することで膨大な時間がかかりましたがモーションキャプチャー技術の発達により、モーションキャプチャーで取得した人のデータを動きの通りに動かす事で作業時間を短縮、さらによりリアルな動きを表現できるようになりました。

モーションキャプチャーのシステムには光学式、磁気式、機械式などいくつかの種類が存在しますがダイナモピク

チャーズでは現在主流の光学式が採用されています。

光学式は、複数のカメラと反射マーカ（小さな丸い球）をトラッカーとして用い、撮影および計測空間周囲にカメラを設置して利用します。このため比較的広い範囲が必要となります。

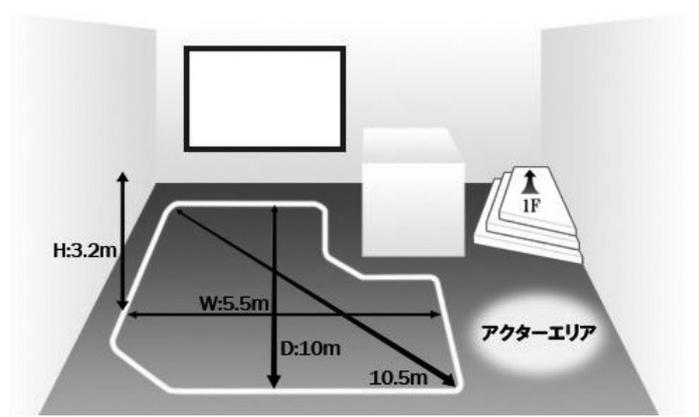
ダイナモピクチャーズは1995年4月に日本で初めてのオープンなモーションキャプチャスタジオを開設。収録エリアは約40㎡、高さが3.2mある大きなスタジオにVicon社製のカメラが30台設置されていて最大7人のアクターを同時に撮影が可能。スタジオの壁一面には200インチのスクリーンが設置されています。

今回はデモンストレーションなのでスタッフの方がアクターとなり体にトラッカーを付けて色々な動きを見せてくれましたが通常は、モーションキャプチャー専用のアクターがその時の用途に合わせて動きキャプチャーする事になります。格闘ゲームの戦うシーンと3Dの萌え系キャラクターのダンスシーンでは全く違う動きが必要なためその動きに特化したアクターにお願いするそうです。人の動きだけでなく持っている物、例えば戦闘シーンであればキャラクターが装備している武器などのナイフや、拳銃、刀などにもトラッカーを付ける事で戦闘シーンの動きをよりリアルに再現する事が可能になるそうです。今回は動き

をキャプチャーしながら 200 インチのスクリーンにほぼリアルタイムでコンピューターに取り込んで骨組みだけのCG キャラクターで動きを確認することもできました。

モニターで動きがすぐに確認出来ることは非常に便利で、アクターは全身タイツの上に丸い小さな球のマーカを付けた状態なので動きが取れているのかわかりずらいことからこのシステムは非常に効率の良い方法だと思えます。今回は見る事はできませんでしたが他にもキャラクターの表情をアニメーション化する『フェイシャルキャプチャー』。カメラにトラッカーを付けてゲームシーンや映画のシネマテークトレーラーなどの利用もあると話していました。

キャプチャーの依頼で多いのはやはりゲームが多いとの事でCGの世界で、よりリアルな動きが再現するために使われるそうです。その時CGの世界で階段上での戦闘シーンなどを再現する場合は階段のセットを作りますが通常のセットの作り方は違いトラッカーが隠れないように骨組みだけのセット、もしくは透明な板でセットを作るそうです。



今回の勉強会で一番驚いた事は日本にもモーションキャプチャー専門のアクターが存在する事です。ハリウッド映画では専門アクターがいる事は知っていましたが日本国内でも専門アクターが存在するほど需要がある事を今回の勉強会まで知りませんでした。

今後さらにCGの進化、コンピューターの性能が上がる事などで萌え系キャラだけではなくよりリアルな人間の動きがリアルタイムで再現される時代が来る事を感じました。

(株)ダイナモピクチャーズ <http://dynapix.jp/>

(文責：(株)デジタル・ガーデン 村松 武)

## 会員社紹介

# AZABU PLAZA 麻布プラザ株式会社

### ■ 会社概要 ■

バラエティとドキュメンタリーを中心に、月約50本の番組制作に関わっている。ポストプロダクション設立は1987年なので今年で創業32年目でポストプロダクションとしては老舗です。私達は、バラエティを中心としたテレビ番組の映像編集やMA(マルチオーディオ)に関する業務等を手がけているポストプロダクションです。創業以来、数多くのゴールデンタイム番組や高視聴率番組、長寿番組の制作に関わっています。今後は、Web動画などテレビ以外のメディアや、3Dテレビなどの新しい技術に対しても、これまで培ってきた技術やノウハウを活かすべく可能性を模索していきます。

お客様との一体になってハイクオリティな映像世界を創造いたします。

リニア編集室20部屋、ノンリニア編集室6部屋、MA室11部屋完備しておりテレビ番組に特化したポストプロダクションとしては業界最大手の規模を誇っています。特長は、高度なノウハウと設備。ハイビジョン対応を始めとした最新設備と経験豊富なスタッフを多数揃え、『高画質・高音質』の作業をスピーディーに行い、さらに番組を面白くする提案により、お客様のニーズに柔軟にお応えしています。

### ■ スタジオのご案内 ■

三田、赤坂、汐留の3スタジオによるスムーズなワークフローの実現。当社では三田、汐留、赤坂の3つのスタジオを持ち、それぞれをネットワークでつなぐことで、迅速かつスムーズな作業空間を提供しています。

編集室：全26部屋

リニア編集室：20部屋

三田スタジオ 14部屋

汐留スタジオ 2部屋

赤坂スタジオ 4部屋

ノンリニア編集室：6部屋

三田スタジオ 4部屋

赤坂スタジオ 2部屋

MA室：全11部屋

三田スタジオ 8部屋

汐留スタジオ 1部屋

赤坂スタジオ 2部屋

\*以上2019年12月現在です、システム並びに各拠点の連携をノンリニア化の推進と共に更新進捗中です。



(文責：麻布プラザ株式会社  
取締役副会長 田村 進)

# International Broadcast Equipment Exhibition 2019 第55回 InterBEE 2019 に出展



歴史と実績に裏づけされた、日本随一の音と映像と通信のプロフェッショナル展として、コンテンツビジネスにかかわる最新のイノベーションが国内外から一堂に会する国際展示会であり、本年度で55回目の開催となった InterBEE2019（主催：一般社団法人電子情報技術産業協会（JEITA：会長 遠藤 信博／日本電気株式会社 取締役会長）が11月13日（水）から15日（金）の3日間、幕張メッセの1～8ホールと隣接する国際会議場などで開催した。

本年は「新たなメディアの可能性を世界に伝えよう」をスローガンに掲げて開催され、最新の映像・放送・通信・音響・照明・メディアビジネスのイノベーションが一堂に会するメディア総合イベントとして開催。出展者数は過去最多となる1,158社/団体（2018年=1,152社/団体）、出展小間数2,125小間（2018年=2,054小間）で、幕張メッセ国際展示場ホール1からホール8までの全館54,000㎡およびイベントホールを使用。会場内の各所に設けられたオープンステージでは、INTER BEE CONNECTED、INTER BEE IGNITION、INTER BEE CREATIVE など、人気の特別企画が開催された。

また、スポーツをテーマにした新たな特別企画である INTER BEE SPORT や5G、IP PAVILION など、最新のトレンドを取り上げたコーナーも開設し、新しいメディアの可能性を感じさせた。

INTER BEE CREATIVEのコーナーとして定着したMEET UPでは、登壇者も含めたクリエイター同士の交流の場、情報交換の場としての催しやVR体験コーナー、製品体験コーナーなどのエリアも多くの来場者で賑わった。

INTER BEE EXPERIENCEでは、イベントホールにおけるSRスピーカー15社の製品によるデモX-Speakerや、プロオーディオのエリアでのプロ用ヘッドフォン、マイクロフォンの体験コーナーであるX-Headphone、X-Microphoneが開催され、実機での体験を通じて来場者が比較できる機会を提供した。

2回目となるDCEXPOも連日多くの来場者でにぎわい、XRやVTuberをはじめ、新しいメディアアート、メディア・デザインの提案が注目を集めていた。

なお、当会の会員社の InterBEE2019 への出展社数は20社で、本年も当会自らも2ホールにてブース展示を行い、ブース内にて、当会の歴史などをまとめたブローシャの配布や昨今の見学会や勉強会などのポスター展示などを行い、当会会員の相互の親睦と交流の場となると同時に新たな会員の募集に努めた。

## ◆アスク◆



同社では、(株)ディストーム、InterBEE IP Pavilion、ソニー・ブース内セミナーゾーン、NDI® パートナーブースにて、各社とのコラボレーションによる出展を行なった。

### ○NewTek VMC1 システム

NewTek VMC1 システムは、今日のライブ・コンテンツ制作現場を、品質面、創造性、柔軟性、そして成果の観点において、新しいレベルへ引き上げます。ライブ・プロダクションテクノロジー業界を長年に亘って牽引するNewTek社によって開発されたNewTek VMC1 システムは、ライブ・コンテンツ制作現場のワークフロー上で必要とされるすべてのシステム、デバイス、ソフトウェアベースの様々なツール、A/V 入出力ソースを統合し、これまでにないシンプルな機器構成とオペレーションでビデオミキシング、合成、配信を提供します。

頭の中で思い描いたコンテンツ、創造力、ストーリーは、「テクノロジー」ではなく、作り手の想像力と創意工夫で生み出されます。NewTek VMC1 システムは、制作側に対して、放送、演出、プレゼン、イベントといった様々なジャンルの映像制作における潜在力を高め、さらには、収益を生み出すコンテンツや投機的なプロダクション事業に対しても支援します。

#### <主な特長>

- ・最大 64 チャンネルソースの拡張性、マルチソースのライブ・ビデオミキシング。各ソースは、キーとフィルをサポート、また、外部入力ソースを最大44 チャンネルまで同時スイッチング
- ・47 種類のマルチフォーマットビデオ出力サポートによる柔軟、且つ、SDI または IP 経由にて同時に4 出力まで出力/ 配信可能
- ・8 系統のM/E バスとPREVIZ コンフィギュレーションとプレビューバスを搭載した、強力なマルチバスミックスエフェクト、ゼロ遅延のリエントリをサポート
- ・ライブ用途として柔軟性を持ったメディア再生(ディスクレコーダー)機能と、様々な種類のファイルフォーマットをサポートする合計75のリアルタイムマルチメディアプレーヤー
- ・専用モニターポート、設定可能なワークスペース、カスタマイズ可能なウィンドウを備えた、

マルチビューワ機能(4 モニターまで)

- ・広範囲のオーディオ機能をサポートする、16 個の外部オーディオミキサー入力、また、4x8x8 チャンネルから4つのオーディオミックス出力へのルーティング機能をサポート
- ・NewTek 社が提供する革新的なネットワークデバイスインタフェース技術「NDI」をネイティブに統合、遅延がほぼゼロのIP 上でのビデオ、オーディオ、およびデータ伝送をサポート
- ・IP 経由で最大44 系統の入力ソースと35 系統の出力信号をサポート。これら入出力ソースは、物理的なコネクション等を変更無しでソフトウェアによって個々のソースごとに設定変更可能
- ・ネットワーク上のどこからでも事実上無制限のIP ソースにリアルタイムでアクセスし、シームレスな相互入出力を可能
- ・何百ものメーカーおよびデベロッパーの製品との統合、ASPEN およびSMPTE 2022 などの他のIP 規格との互換性をサポートするIP ベースのワークフロー

### ○SimplyLive ViBOX 8-SloMo



ViBOX 8-SloMo は、SimplyLive 社がこれまで長年培ってきた業界での経験を最大限に活用し、パワフルなViBox テクノロジーをベースに開発したスローモーション・リプレイ システム。

ViBox 8-SloMo は、さまざまなスポーツ中継などにおけるスローモーション・リプレイ・オペレーションには必要不可欠なコントローラの提供はもちろんのこと、誰もが直感的なオペレーションを可能とするタッチスクリーンもサポートする。

SimplyLive が提供するコントローラは、ハイエンドなスローモーション・システムを過去15~20 年間に亘って使い慣れたオペレーターの手が覚えている感覚をそのまま踏襲した設計になっている。

SimplyLive は、システムの使い方の理解に要する時間を極力減らし、短時間で実際のオペレーションに打ち込めるようなシステムの提供をテーマに日々開発を続けている。

#### <主な特長>

- ・マルチカメラ・スローモーション・リプレイ・ソリューション
- ・最大 6 台までのカメラ・レコーディングをサポート(オプション:スーパースローモーション)
- ・以下の機能を統合:リプレイ/スローモーション(オプション:スーパースローモーション)

- ・ハイライト/グラフィックス・オーバーレイ
- ・NDI プロトコルを介した外部グラフィックシステムとのインターフェース
- ・タッチスクリーンと専用コントローラの両方をサポート
- ・最大 2 ユーザーオペレーションと 2 拠点リモートコントロール

### ○BirdDog P4K カメラ

BirdDog P4K カメラは、巨大な1 インチSony Exmor R 裏面照射型CMOS イメージセンサーを搭載し、有効画素数1440 万ピクセルをサポート。さらにその4K 解像度の美しい画像をフル帯域 NDI で送出することができる。優れた光感度を持つP4K は、テレビ放送、スポーツ、リモートスタジオ、ニュースルーム、礼拝所等、画像品質が重要視される撮影現場に最適な製品。

NDI には、フルデータ帯域幅のNDI と、使用するデータ帯域幅を絞ったNDI |HX の2 つのタイプが存在します。フル帯域 NDI は可変ビットレートの1フレームのみのコーデックであり、データ転送レートは1080p60 で最大約140Mbps で、視覚的ロスレスの高画質映像を提供します。一方帯域を絞ったNDI |HX は、long-GOP 方式の H.264 フォーマットに圧縮されることで、データ転送レートは1080p60 で約12Mbps です。P4K カメラはフルデータ帯域NDI を使用する。

P4K は BirdDog Cloud と直接通信が可能で、Cloud コアライセンスを搭載したコンピューターを必要としません。P4K をネットワークに接続し、BirdDog Cloud コマンドウェブユーザーインターフェースで設定をするだけで、世界中のどこからでもP4K のすべての機能を制御できる。

P4K に使用されるロボット工学は、超緻密かつ超敏感です。パンとチルトの末尾操作を緩やかに調整してプロフェッショナルでドラマチックなショットを作成したり、カメラを素早く操作して、動きの激しいスポーツアクションに追従することも可能。

## ◆池上通信機◆



ますます運用が広がる4K/HD 番組制作に向けて「HDR」「12G-SDI」「IP」に対する取り組みを「ADVANCED BROADCAST EX-P.6 へ続く▶

PERIENCE]として、Ikegamiの先進技術で実現する新たなシステムソリューションを紹介。ステージではシステムカメラと同じ2/3型4K CMOS センサを採用し、新たに開発した「UHL-43」マルチパーパスカメラを展示。また、伝送コーナーでは4K/IP 伝送対応FPU 装置「PF-900」を展示。新たにARIB B71 規格にも対応しました。スイッチャーコーナーでは好評の「MuPS-5000」、4K スwitchャーに加え4K 対応大型ルーター「UHSM-220 × 220」等を展示し、4K/2K を独立させた高品質なサイマルキャストソリューションを提案。モニターコーナーでは4K HDR 対応マルチフォーマット液晶マスタモニター「HQLM-3125X」を展示した。また、特別共同展示として本格的な広域のネットワークを構築し、映像、音声、インカム、監視を網羅した総合的な放送IP システムの紹介を行なった。

また本年のInter BEE では、特別共同展示「IP Remote Production Network」にて、昨年の共同展示を更に発展させ、ベンダー13 社とホール1 からホール7 を横断する本格的な広域のネットワーク「IP Remote Production Network」を構築。映像、音声、インカム、監視を網羅した総合的な「リモートプロダクション」、「リソースシェア」の紹介を行なった。

## ◇ 4K/HD マルチパーパスカメラ「UHL-43」



「UHK-430/435」システムカメラと同じ2/3型4K 8M Pixel CMOS 3 板式の光学系を搭載した4K マルチパーパスカメラ。ワンピースタイプのコンパクト設計のため、パンチルトシステムの外、情報カメラ用途に最適。また、HDR に対応し、ネイティブ4K とHD (4K ダウンコンバート/4K カットアウト)出力を切り替えて運用することができる。12G-SDI 出力を標準装備、オプションで3G-SDI QUAD LINK にも対応する。各種のコントロールパネルとの接続が可能。

## ◇ 4K/HD マルチフォーマットLCD マスタモニター「HQLM-3125X」

LED バックライトを搭載した新開発の4K UHD31.1 型(4096 × 2160)10bit IPS 液晶パネルを採用し、輝度1000cd/m<sup>2</sup>、コントラスト比100 万:1 を実現した4K HDR 対応マスタモニター。

12G-SDI2 入出力、3G/HD-SDI 最大5 入出力に加え、HDMI (HDCP2.2)1 入力を標準

装備。HDR はITU-R BT.2100 Hybrid Log-Gamma、SMPTE ST.2084 PQ 及びLog に対応している。HDR に対応したWFM (RGB/YCbCr)表示およびVSC(Vector)表示が充実している。ユーザー設定可能な3D-LUT による色補正が可能、また長期安定を考慮したユニフォーム補正機能を備えている。

## ◆伊藤忠ケーブルシステム◆



### \*\*\* 映像制作/放送関連機材部門 \*\*\*

#### □4K/8K ファイルベースワークフロー

フィルムスキャナから始まり、インジェスト/トランスコード/エディット/QC/ストレージ/アーカイブそして全体を管理するMAM の各種取扱最新製品をフロアで紹介。12 月からサービスが始まる4K/HDR 関連のQC に注目が集まった。

#### □システム周辺機器

**IHSE KVM システム**：信頼と実績のKVM システムを出展。従来製品群に加えて、1 セットのキーボードマウスで最大8 台のPC を操作出来るU-Switch を展示。またファイルワークフローのシステムは全てIHSE 製品で延長している。

#### **Cobalt Digital SDR-HDR コンバータ**：

OPEN Gear プラットフォームに対応した4K 対応アップダウンクロスコンバータを出展。オプション機能でTechnicolor 社のアルゴリズムを使用し、SDR to HDR そしてHDR to SDR のコンバートを可能にした。その他PC モジュールも国内初登場した。

**Apantac マルチビューワー**：4K 対応のHDMI 入力マルチビューワーを出展。マルチビューワー機能に加え、KVM 機能を持っており、複数のPC 画面をマルチビューで監視しながら、必要に応じて任意のPC 操作も可能にした。

#### □OTT 配信プラットフォーム

**次世代OTT ワークフロー**：入力から監視・マネタイズ・配信ネットワークまで一連のインテグレーション例をワークフローに沿って紹介した。

**Bitmovin エンコーディング**：オンプレミス・クラウド両対応の高性能エンコーディングソリューションを、同社の特長である分散処理を中心に紹介した。

#### 視聴端末間のシンクロ再生/CDN 最適化：

- ・ Sync Live OTT：低遅延かつ端末ごとの配信映像のバラつきを完全に解消するユニークかつ実用的なソリューションを紹介。
- ・ Web RTC：配信ネットワーク(CDN)と併用するP2P 配信技術。映像品質の向上とCDN コスト低減が可能となる。

**サーバーサイドダイナミック広告挿入**：リニア/ライブ配信においてテレビと同じ感覚で広告を差し込むことができる、同時接続への耐性の高いYOSPACE 社サーバーサイド広告挿入サービスを紹介。

**Haivision SRT**：オープンソース化され、パケロス時の再送要求プロトコルとして急速に普及しているSRT の特長、採用事例をデモ映像を交えながら紹介。

#### □リモートプロダクション、SDI over IP/4K/8K 伝送ソリューション

映像伝送分野では話題のリモートプロダクション、SDI over IP/4K/8K 伝送ソリューションの紹介を行なった。

#### □クラウド & AI ソリューション

・【新製品】ICS が新たに展開するSaaS 型クラウドサービス「eVERY (エブリ)」の紹介。eVERY 上で動画素材の品質チェック、ストレージ、アーカイブまでを実演した。

・スポーツのライブ映像制作を無人化。4 眼マルチカメラとAI によるカメラワークで自動撮影・編集を可能としたソリューションを紹介した。

### \*\*\* プロオーディオ 部門展示エリア \*\*\*

**AMS Neve 社**：DAW 一体型スモール・アナログコンソール「Genesys Black」を展示。

**MORSON(株)モアソンジャパン**：BWF-J に対応した音声編集・ポン出しアプリケーションを展示した。

## ◆イノテック◆



イノテックでは、AWS (アマゾン・ウェブ・サービス)と自社ブースの双方にて出展。AWS ブースでは、OTT サービスのend-to-end の品質管理ソリューションを紹介。また、Interra 製品は、Amazon Elastic Compute Cloud (Amazon EC2)を活用したデモを行なった。

①視聴体感品質との相関から見る BI 分析

## ラットフォーム (SaaS)

**NPAW 社「YOUBORA Analytics」**: 視聴者のエンドデバイスのプレイヤにシンプルなプラグインを実装するだけで、動画配信サービス全体のパフォーマンスをあらゆる指標で可視化、複数のディメンションでフィルタリング抽出し、積極的なユーザー管理や大規模障害発生を回避するための先回り対策や動画配信サービスの最適化が可能になる。オペレーション部隊やコールセンターでの技術的な問題解決だけではなく、解約予測を含めたユーザー動向の推移や広告のパフォーマンス管理もでき、経営層やマーケティング視点からの迅速なビジネス判断を手助けをする。

## ②配信中のコンテンツの品質エラーも検出可能なQoS & QoE 監視ソリューション

**Interra Systems 社「ORION」&「ORION OTT」**: Live & VOD のリアルタイム監視プラットフォームエンコーダバウンダリポイント、Origin サーバ、CDN/Edge サーバ、エンドデバイスでのABRコンテンツの整合性検査やオーディオ/ビデオ品質検査、サーバやネットワークのパフォーマンス監視が可能。

「ORION Central Manager (OCM)」で複数監視ポイントの一元管理ができる。

**Interra Systems 社「BATON」**: ファイルベースワークフロー向け次世代型QCプラットフォームIBC2019で発表された最新版のv.7.6のデモを行なった。検査タスクがピークを超えた時に、Amazon EC2上で検査インスタンスを自動で起動できるオートスケーリング機能にも対応。独自のAIとマシンラーニング(ML)技術を駆使した現在絶賛開発中の新製品の自動コンテンツ分類化ソフトウェア「WINNOW」と音声と唇の動き(リップシンク)のズレを検出可能な「LipSync Tool」も参考出展した。

## ③アクティブアーカイブに最適なS3-API完全互換のオブジェクトストレージ

**Cloudian 社「HyperStore」**: テープよりも100倍早く、また従来のHDDベースストレージ(NAS/SAN等)よりも70%コスト削減可能なCloudian社のオブジェクトストレージ(HyperStore)は世界中のメディア業界のアクティブアーカイブ等で利用されている。増え続ける映像データを必要な時に必要なだけ無制限に容量拡張できるスケールアウト機能は、小規模で始めながらもノードを追加するだけでエクサバイト級にまでダウンタイムを一切許容することなく拡張可能。

映像サービスの多様化に伴い、様々なS3互換のMAM/編集ソフトウェアやAIサービス/アプリケーションとシームレスに連携することができ、映像コンテンツのメタデータをリッチにすることでこれまでにない高速でインテリ

ジェントなコンテンツ検索が可能になる。

また、イノテック単独ブースでは、動画制作/編集に最適なQNAPストレージを紹介した。

○最先端ネットワークアタッチドストレージ「QNAP turbo NAS」: データの大容量化が進む映像制作現場などにおいてチームでのデータ共有、大容量データの保存、バックアップ、高速転送等は非常に重要になっている。

QNAP社 Turbo NAS シリーズではそれらを専門知識のいらない簡単な設定とリーズナブルな価格でおこなうことが可能。

高速大容量転送を実現するThunderbolt™2や10Gb Ethernet対応のモデルにSAMSUNG高速SSD及びWesternDigital高信頼HDDを搭載し、QNAP社製10G Switchを通して実際の転送速度等を紹介した。また、映像編集などにおいて外付けの可搬ドライブも含めた全て10Gbps接続環境でのワークフローの提案を行なった。

## 出展製品:

**QNAP NAS「TVS-872XT」**: 高速動作を支えるM.2 NvmeSSD対応、USB3.1G2、Thunderbolt3、10Gb Ethernet搭載オール10Gbpsのインターフェースで高速動作。

3.5HDDとNvmeSSDの組み合わせで高速かつ大容量のNAS環境を構築することができ、データのアーカイブ用、運用用、作業場所と幅広い使用法が可能。

**QNAP NAS「TVS-2472XU-RP」**: 幅広いビジネスIT環境用にデザインされているTVS-2472XU-RPはデュアルポートSFP+10Gイーサネットを標準搭載し、大量のファイルの共有、高負荷バックアップ、仮想化アプリケーションに対応する。また、PCIe拡張性により、25GbE/40GbE接続やSSDストレージの取り付け、グラフィックカードの取り付けが可能になり、AIワークフローやビデオトランスコーディング、ストレージ全体の高速化などをおこなうことが可能。また、4K HDMI 2.0出力は、モニターまたはTV上に監視ビデオを表示することも可能。冗長化された電源を搭載しており、安定駆動する。

**QSW-1208-8C**: コストパフォーマンスの良い12ポートの10GbEアンマネージドスイッチ。SFP+4ポートとSFP+とRJ45のコンボポートを8ポート持ちQNAP NASとの組み合わせでチーム単位での10G化などを低コストでおこなうことが出来る。

## ◆共信コミュニケーションズ◆

「MISTIKAテクノロジー」「スケールアウト・ストレージ」「MAM/Transcodeファイルベースワークフロー」「Avidソリューション」「AI解析コンテンツマネジメントシステム」



「高精細4K LEDディスプレイ」など、次世代の映像制作に欠かせない最新ソリューションをトータルで紹介した。

## □4K/8K オンラインフィニッシングシステム「Mistika」

— Beautifully Creative Technology —

最も強力で柔軟性に富んだ、完璧なDIポストプロダクションシステム。Mistikaはオンライン編集、VFX、カラーグレーディング、ステレオスコピック3D、デリバリーをひとつのシステムにおさめたトータルポストプロダクションシステム。マルチレイヤー構造で、HD、2K、4K、8K編集作業をリアルタイムに行い、スピードや正確性を発揮しながら、完璧な仕上がりを提供する。

リアルタイムかつ柔軟で、直感的な操作性と即応性に優れたユーザーインターフェースは、オペレーションの精度を正確に表現でき、新たなアーティスティックな表現を実現する。

## □動画解析機能搭載コンテンツ管理システム「DaAlps アーカイブ/プレイアウト」

— 「AI」を利用したコンテンツ管理システム—  
膨大なデジタルコンテンツを有効活用するために、CMS「コンテンツ管理システム」は必要不可欠なもの。しかしながら、いざ導入/運用となるとインターフェースが分かり難い、メタデータ不足で検索機能が十分に使えていない…などの理由で、システム自体を十分に使いこなすことができない。

DaAlpsは、さまざまなデータを登録、管理、「AI」解析し、コンテンツをフル活用するプラットフォームです。シンプルに素早い操作で、ワンコンテンツ・マルチユースを実現する。

## □メディア変換プラットフォーム

「Dalet AmberFin」

—高品質メディア変換の自動化で

生産性を飛躍的に向上させるソフト—  
Dalet AmberFinはテープやファイルベースの素材の取り込み、高品質な方式やフレームレート変換、またワークフローの中のどのポイントからでも作業の状況が確認できるという特徴を持ったソフトウェア。

## □メディア・アセット・マネジメント

「Dalet Galaxy five」

—世界標準のMAM

(メディア・アセット・マネージメント)—

世界中の放送局、番組制作会社などのメディア系、また医療、科学分野、文書保存などの業務系の分野で多く採用されているDalet社のMAM、Galaxy fiveは、今回さらにバージョン・アップしてユーザーのワークフロー向上にとってなくてはならない存在である。

## □SAN/NAS 共有ストレージシステム

業界最速のストリーミング・ファイル・システムであるStorNextを使用した大規模なSANの構築から、小中規模でのNASの構築まで、ご用途に合わせ、信頼性と拡張性を備えたストレージシステムをご提案しファイルベース映像制作を支える。

## □HD/4K ノンリニア編集システム

Avid Media Composer、GrassValley EDIUS、Adobe Premiere Pro、Blackmagicdesign DaVinci Resolve 等、業界で使われているあらゆるアプリケーションでのシステム構築が可能。

## □4K/8K ハイエンド編集システム

高品質なオンライン編集、カラーコレクション、フィニッシング SGO Mistika、SAM Rio、Blackmagicdesign DaVinci Resolve、4K/8K、HDR、HFR といった次世代の映像制作に欠かせないソリューションを、制作ワークフローのコーディネートから提供する。

## □MA/DAW

ProToolsなどのDAWからオーディオミキサー・マイク・スピーカーなどの提案。

そのほか、HD/4K/8K カメラソリューション、アーカイブ、HD/4K/IP 対応スタジオシステム、QC(コンテンツ品質チェック)、大容量ファイル転送システム、大容量・高速ファイル送達ソフトなどの紹介をおこなった。

## ◆グラスバレー◆



60周年を迎えたグラスバレー。Inter BEE 2019ではアプリケーションごとの展示を行い、最新のワークフローを紹介。いま最も注目されているリモートプロダクション、東京オリンピックでの活躍も期待されるカメラを用いたHDR制作、さらに今や数少ない日本開発の編集システムとなったEDIUSとRioの最新バージョンを展示した。

## □Remote/At-Home Production



ライブ中継の現場と局内設備をIPで接続、現場に持ち込む機材と人員を最小限にすることで、ライブ制作の効率を大幅にアップ。End to EndのIPソリューションを展示するとともに、海外のリモートプロダクション事例も多数紹介した。

出品製品は、4Kシステムカメラ「LDX 86<sup>N</sup> with Direct IP+」、プロダクションスイッチャー「Kula IP」、リプレイシステム「LiveTouch IP」、IPスイッチ「GV Fabric」、IP SDIゲートウェイ「IQUCP25」、IPマルチビューワー「MV-820-IP」、統合型設定・管理・監視システム「GV Orbit」、SDI/IPルーターコントロールシステム「GV Convergent」

## □Media Workflow



いまや報道編集の定番となったEDIUS、カラーグレーディングを含むポストプロダクションの最高峰Rio。共に日本で開発する両編集システムの最新バージョンがリリース。

さらに、8Kに対応するEDIUSの最高峰モデルも紹介した。

出品製品：8Kリアルタイム編集システム「HDWS 8K Elite」ハイエンド編集/カラーグレーディングシステム「Rio」。

## □Creative Grading



東京オリンピック2020でも来日する多くの放送局及びプロダクションが採用するネイティブ4KカメラLDX86Nシリーズ。今回新発売となったCreative GradingパネルによるHDRシェーディングを紹介。また、エントリーモデルのFocusシリーズカメラの紹介も行った。

出品製品：4Kシステムカメラ「LDX 86N with Creative Grading パネル」HHDカメラ「Focus 70」

## □Belden Connectivity

映像、音声、ネットワーク、様々な用途で最高の品質を提供する接続ソリューションを紹介。

## ◆ソニービジネスソリューション◆



「ともに創る。ともに進む。Live Your Vision」をテーマに出展。

9月に発表したシステムカメラやカムコーダーラインアップ、Eマウントシネレンズなど、制作環境の更なる充実化を図りコンテンツの価値を高める商品群やワークフローを紹介。また、4K HDR / HD SDRの同時制作を実現する「SR Live for HDR」やIPライブ伝送規格に対応する「IP Live プロダクションシステム」、12G-SDIと多様化するライブ制作に柔軟に対応するソニーのライブ制作ソリューションを提案した。その他、クラウドベースのワイヤレス取材ソリューション「XDCAM air」、Media Backbone 報道ソリューション、HDR対応モニターラインアップ、スマホインカムサービス「Callsign」やAIを活用したソリューションなども展示。会期中、ソニーブース内セミナーゾーンではさまざまなセミナーを実施。さらに9.7m×5.4m、440インチ相当の8K×4KサイズのCrystal LEDディスプレイシステムにおいて8K 120pコンテンツを含む多様な映像を上映した。

また、INTER BEE IP PAVILIONにてIP実機接続デモ/リレーセミナーへの参加も行なった。

## □4Kライブ映像制作

マルチフォーマットポータブルカメラ「HDC-5500」とさまざまな性能を共通化し、大型レンズの運用に最適なワンピース構造のスタジオ大型カメラ「HDC-5000」を世界初展示。



また、カメラの接続互換性に優れたフルラックサイズのカメラコントロールユニット(CCU)「HDCU-5000」やカメラヘッドで撮影した映像・音声信号をCCU内に記録することができるレコーディングオプション「HKCU-REC55」も展示した。

IP Live プロダクションシステムコーナー

では、複数機器の統合的な管理および監視を実現するソリューション「Live Element Orchestrator」を国内初展示を行なった。

## □カムコーダーラインアップ

今年9月に発表した、新開発の6K フルサイズCMOS イメージセンサーを搭載したXDCAM™メモリーカムコーダー「FX9」やフルサイズ対応の大口径広角ズームレンズ FE C 16-35mm T3.1 G「SELXC1635G」(Eマウント)、そしてグローバルシャッター機能を含む4K 2/3 型3 板式CMOS イメージセンサーを搭載したXDCAM ショルダークムコーダー最上位機種「PXW-Z750」など、新商品をはじめとした幅広いカムコーダーラインアップを展示した。



XDCAM  
メモリーカムコーダー  
FX9

フルサイズ対応  
大口径広角ズームレンズ  
FE C 16-35mm T3.1 G  
SELXC1635G

XDCAM  
ショルダークムコーダー  
PXW-Z750

## ◆テクノハウス◆



### ○主な展示品目と製品名

evertz SCORPION-4/メディアプロセッシングプラットフォーム

Omnitek Ultra 4K Tool Box/12G-SDI対応のフィジカルレイヤーアナライザ(アイパターンのジッター解析)/データアナライザ/ジェネレータ

IO industries Victoremシリーズ

AVIWEST PRO380/モバイルエンコーダー  
SONIFEX AVN-DIOシリーズ/Dante®対応オーディオインターフェース

### ○主力製品の特徴

映像制作/放送関連機材 ブースではevertzのSCORPION-4メディアプロセッシングプラットフォームを展示した。1GbE/10GbEおよび25GbEイーサネットWANネットワーク上でビデオ、オーディオ、およびデータサービスを同時に転送することが可能な、スタンドアロンのコンパクトなマルチサービス信号変換、アグリゲーションゲートウェイ。SCORPION I/O ミニモジュールを使用することで、SCORPION-4は非常に柔軟で、12Gシ

ングルリンクSDI、イーサネット、MADI、AES、HDMI、インターコム、シリアルデータを含む様々な種類の信号に対応できる。

またOmnitek社のUltra 4K Tool Boxは12G-SDI対応のフィジカルレイヤーアナライザ(アイパターン・ジッター解析)/データアナライザ/ジェネレータの機能を持った製品の展示を行なった。12G-SDI、3G-Quad Link、HDMI(1080/60p)の入力と12G、6G、3G、HD、SD、HDMI、DisplayPortの出力で4K60Pまでのビデオ信号の監視が可能な製品である。

プロオーディオブースではSONIFEX社のDante®対応オーディオインターフェースAVN-DIOシリーズを展示。AVN-DIOシリーズはマルチチャンネルで構成されるDante®オーディオネットワークに接続できる、2chのIO BOXであり、マイク、ライン、AESなど様々なラインナップを持っているので、Dante®に対応していなかったこれまでのアナログ製品などを簡単に組み込むことができる。

## ◆東通産業◆



デジキャス(DIGIcas)社ブースにて、「Audio & Visual システムインテグレーターと大型LEDディスプレイUniluminの取扱店」として協賛出展。Unilumin社の110インチ&60インチLEDディスプレイを中央に設置したブースにて、eSportsをテーマにした展示内容であり、コナミ社の「ウイニングイレブン」の実演を行った。

eSportsの世界人口はすでに1.3億人といわれテニスを超えるスポーツ人口となっている。また、国内では全国高校選手権大会の開催や団体種目となるなど注目度が上がっており、2022年には市場規模100億円と予測されている。

## ◆ニツキャビ◆

シンプルで低コストでありながら拡張性とデザイン性に優れたコンソールデスク「space RAIL」に「ウォールマウントフレーム」と「モニターアーム」を組み合わせた多面監視仕様としてより再現性高く展示。

さらに新製品としてラック用排気ファンを最



大6機搭載し、回転数低下等の異常時にアラーム出力を可能とした「アラームファンユニット」および対応オプションとして各ファンの回転数や電源、コネクターボックスの通電状態を監視し、異常時にはLEDランプの点滅とブザーによる発報を行い、どのファンまたはコネクターボックスによる異常なのかを一目で確認することが出来る1Uサイズの「アラームファンモニター」が初出展となった。(写真下)



また、あらゆるシーンに対応可能なモジュール式コンソールデスク「cyber RAIL」やマルチモニターウォール「cyber WALL」、スタイリッシュでコンパクトな「cyber RACK」、サインージスタンドや様々なツールキャリアとしても使える「cyberSTAND」などの「cyberseries」を中心にデザイン性を備えた樹脂ケース「HPRC レジンケース」、そして従来から映像・放送業界で採用されているブロードキャストラック「NEO Rackシリーズ」や静音ラック「SRCシリーズ」などのラック製品に樹脂性ダクト「オープンダクト」や床下配線の階層分けを可能とした「アンダーフロアケーブルマネージャー」などのソリューション関連を組み合わせ展示した。

## ◆日本デジタル・プロセッシング・システムズ◆

DPSJおよびメーカー、販売代理店、パートナー各社のブースにて、DPSJ取扱製品を出品した。

### □ Zixi

ビデオストリーミング QoS ソリューション: Zixi (ジクシー)は、完全な品質、低遅延、総合的な信頼性、および最高のセキュリティ保護を備え、標準的なインターネット接続で放送品質のHDおよびUHDビデオの配信と管理を可能にする。

ZEN Master (ゼン・マスター): Zixi

P.10へ続く▶

Platform 全体を編成でき、Zixi Platform、デバイス、アプライアンスにおける大量の設定、編成、および監視を一元管理することが可能。

□ indigital [ NEW ]

『プッシュ通知』 広告などを提供、コミュニケーションプラットフォーム：モバイルや PC へ有益な情報を顧客または潜在顧客に「プッシュ通知」によって届ける新たなコミュニケーション (広告や提案など) 手法を提供します。

THEOplayer: HTML 5 動画 プレイヤー：次世代の Web 標準 HTML5 に対応した HLS / MPEG-DASH 動画プレイヤー。Flash、Silverlight のブラウザ対応がなくなりつつある今、動画サイトの HTML5 化が進んでいます。

HESP (High Efficiency Streaming Protocol): THEOplayer が一から開発した超低遅延ストリーミング向けプロトコル。

□ YOUTORA Suite

オンラインビデオサービス向け、包括的ビデオ分析 & ビジネスインテリジェンス・プラットフォーム：YOUTORA Suite (ユーボラ・スイート) は、OTT や放送事業者、通信事業者、メディア・サービスを支援します。プラットフォーム全体のスマートな意思決定と行動をサポート、パーソナライズされた魅力的なエクスペリエンスを構築して成長を促進します。

□ Wowza

業界標準のストリーミングサーバー：HLS、MPEG-DASH、SRT、WebRTC に対応した、業界標準・最先端の配信サーバーソフトウェアを提供します。

Wowza Streaming Engine：永続ライセンスを基本として、オンプレミスまたはクラウド環境にデプロイ可能な配信サーバーソフトウェア。閉域網での利用も可能。

Wowza Streaming Cloud：スケラブルな配信サーバー環境を提供するライブストリーミング向けクラウドサービス。

Wowza ClearCaster：配信現場での問題を、簡単、確実に解消し、安心且つ信頼できる自動調整・モニタリング機能を搭載したアプライアンスエンコーダ。

□ Magewell

Pro Convert Fmly: 従来からのビデオ信号環境と NDI ベース環境との橋渡しとなるカメラマウント対応の NDI コンバータデバイスです。

Pro / USB Capture Fmly: PCI または USB インターフェイスを介したビデオキャプチャ用デバイス、ハードウェア上にプリプロセス処理機能を搭載したコスト対効果に優れた製品群を提供します。

□ Teradek Cube

SRT 対応、ポータブルデバイス型のライブエンコーダ・デコーダ：Teradek Cube 700

シリーズは、世界最高水準のビデオ品質で何処でも素早く IP ビデオを配備可能、カメラ上部や三脚にマウント可能な性能を堅牢且つポータブルなシャーシに収めた、コンパクト且つパワフルなライブエンコーダ & デコーダ製品です。

□ Metus

Metus MAM (メタス・マム)

Metus INGEST (メタス・インジェスト)

Metus Playe r (メタス・プレイヤー)

スケラブルなメディア・アセットマネジメントシステムと、業務用フォーマットに対応したインジェストソリューション。ユニバーサルなメディアプレイヤーなどを提供します。

□ NewTek MediaDS

NDI 対応、リアルタイム・メディアエンコーディング & ライブストリームビデオ配信プラットフォーム：MediaDS は、NewTek 社で培われたライブプロダクションテクノロジーと、パワフル、かつ実績のある Wowza Streaming Engine を統合したソリューションです。NDI ストリームの入力にも対応し、柔軟なエンコーディング環境を提供します。

□ SelenioFlex™ File

ロジック分岐対応、File-to-File のトランスコード自動化ソリューション：トランスコーディングとワークフロー機能をシームレスに融合し、ポストプロダクション、アーカイブ、マルチスクリーン配信といった用途向けに、高画質かつ包括的なフォーマットをサポートする、File-to-File メディア処理ソリューションです。

□ Videogram

機械学習と深層学習 (AI 技術) によるコンテンツディスカバリー・プラットフォーム：既存の動画チャンネルや配信サービスへシームレスに統合可能です。より魅力的な表現と演出を提供し、動画配信ビジネスの収益化と効率化を向上させます。

## ◆ビジュアル・グラフィックス◆



Autodesk Flameの特別プレゼンテーションを中心に、Adobe Premiere Pro の最新機能の紹介や、トランスコーディング品質管理QC、共有サーバ素材管理、HDR | HLG ソリューション、クラウド対応データ転送、CM



字幕制作などのコーナーを設けて各社製品を紹介した。

4K HDR/HLG制作環境を実現するのに必要な最新機器とそのシステム展示。Edit Share のスケールアウト型プロダクションストレージサーバー「XStream EFS」やファイル管理ツール「Flow」、メディアファイルの解析とビデオ・オーディオファイルの品質チェックをオートメーション化する「Qscan」の最新バージョンを展示し、注目を集めていた。

なお、「Autodesk Flame」は、イメージを思いのままにコントロールし、オンラインでの編集、合成、カラーグレーディングを一台のシステムでワークフローを完結させるフィニッシングツールであり、システムは安定性の高い Linux OS で構成され、GPU、ビデオ I/O、ストレージ、ネットワークがひとつのシステムとして高いパフォーマンスを発揮しているが、Linux 以外にも MAC OS にも対応している。また、2020 の以下のようにさらなる新機能にて、3D コンポジティング、ビジュアル エフェクト、色補正、エディトリアル フィニッシング用のツールが搭載された 3D VFX フィニッシング ソフトウェアとなり、クリエイティブな作業に必要なツールを取りそろえた統合環境を提供する。

エフェクトの環境：グループ

視覚的に構成できる機能を利用して、フォーカスしたいショットをフィルタリングし、すばやく比較や調整を行えます。

エフェクトの環境：レイアウト

ビューポート、ストーリーボード、メディアパネル、タイムライン エフェクトのパイプライン、マネージャーなどを設定してユーザー インターフェイスのレイアウトをカスタマイズし、これを簡単に作業環境に適用できます。3D/AOV：選択可能な 3D モーション ベクトル モード

CG レンダリングや分析を行ったモーションベクトルを、選択した 3D オブジェクトに直接入力してマスクと組み合わせることで、エフェクトを選択的に適用します。

セマンティック キーヤーで空を抽出

ワンクリックで空を選択表示し、カラー補正や合成を行います。雲を除去したり、空の背景に処理を追加するなど、さまざまな処理を行えます。

## ◆フォトロン◆



《業務効率化を実現する“制作ワークフロー”を提案》をテーマに、従来の映像制作を効率的に改善するための新しいワークフローを提案。各作業に特化した製品やサービスの紹介だけでなく、ワークフローとしてシステムアップした場合のメリットや運用イメージの紹介を行った。

また、IP とSDI、クラウドとオンプレなど、それぞれの制作によって最適なフォーマットを選択いただけるよう、各製品コーナーではスペシャリストによる詳細説明を行なった。

8K/4K に対応した編集・グレーディングツール、ライブ/スマートプロダクションシステム、リアルタイムグラフィックシステム、クラウド編集やテロップツール、ストレージ、パッケージング用トランスコードシステム、ファイル転送サービス、働き方改革を訴求するモバイル編集アプリなど、映像制作全体をカバーするソリューションを提案した。

また、フォトロンブースでは、以下のようなイベントを催した。

□ 8K/HDR ショートフィルム『Three Trees』上映《4K・8K・HDR ゾーン：Avid》初お披露目となる8K/HDR ショートフィルム『Three Trees (制作：関西テレビ放送)』を上映。Media Composer の実際のタイムラインの説明のほか、制作ワークフローを詳しく紹介した。

□ テロップ制作システム「TFX-Artist」ユーザー講演《4K・8K・HDR ゾーン：TFX-Artist》会期中毎日、テロップ制作システム「TFX-Artist」導入企業様による、特別講演を開催。導入から運用・使い方まで、ユーザーならではの視点で、リアリティある実践的な講演を行なった。また、TBS ブースにて、音声認識技術を活用したテロップ制作を実機で紹介した。

- TFX-Artist を3年間使用して分かったこと  
ヌーベルアーヂュ株式会社 武者宏氏
- もじこ×TFX～AI 音声認識技術を活用したテロップ制作～  
株式会社TBS テックス 磯辺宏章氏
- TFX-Artist を3年間使用して分かったこと  
ヴェルト株式会社 橋本治氏

□ Boris FX 社 Sapphire/Mocha/BCC Ver. 2020 新機能デモ《4K・8K・HDR ゾーン：Avid》：Boris FX 社 Ben Brownlee (ベン・ブラウンリー)氏によるSapphire/Mocha/BCC バージョン2020 新機能の実演デモを会期中毎日おこなった。パノラマ効果プレートを生成「Mega Plate」(Mocha)を始め、新エフェクト「Free Lens」(Sapphire)、「Particle Illusion」(BCC)などを紹介。

□ EVS ユーザーミーティング2019：EVS 製品を使用しているユーザーを対象に、『EVS ユーザーミーティング』を開催。

□ Avid User Meeting Party：ここでしか聞けない『8K/HDR ショートフィルム“Three Trees”制作秘話 (関西テレビ放送株式会社 矢野数馬氏)』、『ハリウッド映画“ゾンビランド・ダブルタップ”編集秘話 (エディター Dirk Westervelt 氏)』の2つのスペシャルセッションを開催した。

□ クラウド制作フロー対応新サービス「Pharos」プレゼン《AWS ブース》「IMAGICA GROUP」コーナーにおいて、クラウド制作フロー対応の新サービス「Pharos (商標登録出願中)」を初お披露目。Pharos は、完成原版などのメディアや資料等のデータを一括で管理し、活用する国産・自社開発の Production Assistance Dashboard (PAD) で、制作をアシストする。AI による Speech To Text やトランスコードサービス連携、BeBop Cloud 編集等も出展した。

## ◆ブラックマジックデザイン◆



メインブースでは、先進の8K 対応製品や、新しい編集スタイルを提供するDaVinci Resolve 16.1 などバラエティ豊かな製品を展示。また、今回DaVinci Resolve の実践トレーニングブースを新たに設置した。メインブースの DaVinci Resolve シアターでは、ハリウッドの有名作品を手掛けるカラリストをはじめ、国内にて第一線で活躍されているカラリスト、ディレクター、撮影監督をゲストに迎え、DaVinci Resolve 16.1 や Pocket Cinema Camera 4K/6K の作品事例をもとにデモンストレーション & トークセッションを行った。最新のHDR 映像や映画、コマーシャル、ミュージックビデオ、イン

スタレーション、V-log 作品など、多彩なアーティストと作品が揃う3日間であった。本シアターでは、DaVinci Resolve 16.1 の最新情報や明日から使えるTips セミナーも実施された。



一方、今回新たに設けられたDaVinci Resolve の実践トレーニングブースでは、DaVinci Resolve 認定トレーナーによる、DaVinci Resolve のあらゆる側面をカバーする多数のクラスを開催した。

## ～DaVinci Resolve シアターにて 行なわれたセッション～

- The Creative Color Grading : Walter Volpatto 氏 / EFILM Digital Laboratories
- The Creative Color Grading : Ben Conkey / Tokyo
- The Creative Color Grading : Toshiki / Cutters Studios Tokyo
- COMMERCIAL PHOTO コラボ企画  
Pocket Cinema Camera Works : 菱川 勢一氏 / DRAWING AND MANUAL
- COMMERCIAL PHOTO コラボ企画  
Pocket Cinema Camera Works : 林 響 太郎氏 / DRAWING AND MANUAL
- COMMERCIAL PHOTO コラボ企画  
Pocket Cinema Camera Works : 藤代 雄一朗氏 / DRAWING AND MANUAL
- Shot with Blackmagic design  
Camera : 上野 千蔵氏 / NEON
- "Self expression" is my origin. V-loger によるDaVinci Resolve & Pocket Cinema Camera 4K : 大川 優介氏 / 株式会社TranSe
- The Creative Color Grading HDR : 金田 大氏 / ソニーPCL
- FILM 撮影によるクリエイティブ Cintel Film Scanner & DaVinci Resolve による16mm 制作 : 酒井洋一氏 / HIGHLAND TOKYO, 大田徹也氏 / Digital egg inc.
- VFX アーティストによる明日から使える FUSION tips : 吉村 寛興氏 / スタジオ吉庵
- 驚異の進化、編集の革命！ DaVinci Resolve 16.1 新機能紹介 : 岡野太郎 / ブラックマジックデザイン

## ◆朋 栄◆



本年も「FOR-A World of Possibilities (無限の可能性に向けて)」をメインテーマとして継続しながら、ブース内を「トータルマネージメント」「スイッチャー/ルーティングスイッチャー」「プロセッサ」「ファイルベース」「グラフィックス」「スーパースローモーションカメラ」「輸入取扱製品」の7つのエリアに分けて展示。12G-SDI/IP製品、HDR対応製品、グラフィックス関連製品などを組み合わせ、制作現場の省力化・自動化というニーズに対応可能な製品/ソリューションを出展した。

### □トータルマネージメント

12G-SDI/IP、グラフィックスなどの技術基盤を活用し、信号分配や回線、ライブ制作、編集制作の各環境の統合を実現。

● 総合管理制御ソフトウェア「SOM-100」: ベースバンド、IPを意識することなく、各種機器を統合制御可能。

● IP対応マルチチャンネルビデオサーバー「MBP-1000VS-IP」: Video over IPで10 Gbps映像入出力に対応。XAVCコーデックを最大2系統搭載可能な4Kモデルと、MPEG-2コーデックを最大8系統搭載可能なHDモデルをラインアップ。

● 映像圧縮コーデックモジュール「USF-106TICO-12G」: TICOコーデックを使用して圧縮/伸長を行い、4K UHD映像を3G-SDIで伝送可能。

● IPゲートウェイモジュール「USF-10IP」シリーズ: IP規格のSMPTE ST 2022-6、ST 2110の相互変換が可能。SDIモデルでは、SDIとIPの相互変換に対応。

### □スイッチャー/ルーティングスイッチャー

番組/報道制作に不可欠な各種12G-SDI対応スイッチャーを展示。

● 12G-SDI対応ビデオスイッチャー「HVS-6000/6000M」(新機能): 全入力が12G-SDIに標準対応した2M/Eビデオスイッチャー。3M/E構成に拡張可能。25GbE IPポートを8基備えたIP入出力カードオプションHVS-6000IP-8I0も、新たに追加。

● 12G-SDI対応ビデオスイッチャー「HVS-1200」: 12G-SDIに対応し、4K UHD 10入力・10出力が可能。

● 12G対応ルーティングスイッチャー「MFR-6100」(NEW): 12G-SDI入出力で、最大144入力x144出力のマトリクス構成が可能。入出力は、それぞれ9系統単位で拡張可能。CPU、電源ともに冗長構成が可能。

### □プロセッサ

12G-SDI/IP、グラフィックスなどの技術基盤を活用し、信号分配や回線、ライブ制作、編集制作の各環境の統合を実現。

● 12G-SDI対応シグナルプロセッサ「FA-9600」(新機能): 標準でHD2系統、オプションで4K+HDの処理が可能。SR Live for HDRに対応するほか、SFP+オプションも登場。4K HDRディスプレイの設定を連動させるVideo Payload ID連動機能を搭載。

● 12G-SDI/IP対応信号発生器「ESG-4200」(朋栄エレテックス製): SMPTE ST 2022-6、ST 2110によるIPストリームの出力に対応。SDI出力は2系統出力に拡張でき、各系統ごとに独立した制御、設定が可能。Video Payload ID編集機能も搭載。

● タイムラグチェッカー「EDD-5400」(朋栄エレテックス製): Quad Link 3G-SDI、HD-SDIの各信号フォーマットにおいて、映像、音声、音声CH間、映像と音声間の遅延、およびVANC信号と映像間の遅延を測定可能。オプションで12G-SDIに対応するほか、GNSS(衛星測位システム)で遠隔地間の伝送遅延測定が可能。

● 12G-SDI対応フレームレートコンバーター「FRC-9100」: 4K/HDのアップ/ダウン/クロス変換をサポート。オプションで12G-SDIに対応。

● ユニバーサルシステムフレーム用各種USFモジュール製品: システム構築に欠かせない各種モジュール製品を、12G-SDI対応製品を中心に紹介。

### □ファイルベース

送/出録に対応可能なビデオサーバー製品をはじめ、字幕制作関連製品や簡易プレビュー用のアップ/ダウンコンバーターなどを展示。4K、HDR、広色域など最新ワークフローに対応。

● 12G-SDI対応マルチチャンネルビデオサーバー「MBP-1000VS-12G」: コーデック搭載数に応じた同時収録または同時再生が可能。エンコード中の追いかけ再生にも対応。

● LTO-8テープ対応LTOサーバー「LTS-80」: LTO-8テープ(最大記憶容量12TB(非圧縮時))に対応。最大転送速度300MB/秒のLTO-8ドライブにより、4K時代に求められる大容量のアーカイブやバックアップをサポート。

● MXF字幕ソフトウェア(朋栄IBE製): MXFリーダー/プレーヤー/プロキシトランスコーダーのほか、音声認識技術を活用した字幕制作支援機能、文字起こし支援機能を展示。

● 4Kフレームレートコンバーター「MCC-4K-A」[NEW]、4Kダウンコンバーター「IF4K-DNC」、8Kアップコンバーター「IF8K-UCN」、8Kフレームシンクロナイザー「IF8K-FSCC」(InSync社): 軽量でコンパクトなInSync製コンバーターを展示。4K/8K制作時のプレビュー用途に活躍

● 簡易CG/キャラクタージェネレーター「CG-Portable」[NEW](Brainstorm社製): BrainstormによるライブCGを搭載したCG/

キャラクタージェネレーター。

● スケールアウト・プロダクションサーバー(EditShare社|VGI): 編集用共有ストレージとして最適なEditShare製EFSシリーズを展示。

### □グラフィックス

テロップ製品や、フレキシブルなカメラ運用が可能なバーチャルスタジオ製品など、グラフィックスを活用する製品/ソリューションを展示。

● 12G-SDI対応キャラクタージェネレーター「VWS-1000-12G」: 12G-SDIに対応し、4K UHD利用時に1系統送出、HD利用時に2系統送出が可能なキャラクタージェネレーター。

● 12G-SDI対応スタンドアロン型キャラクタージェネレーター「EzV-300-12G」: 12G-SDI対応モデルが加わりラインアップが充実。シンプルな運用が可能な4K対応キャラクタージェネレーター。

● センサーレスバーチャルシステム「VRCAM-NX」: 最大4台のバーチャルカメラを使用可能。CG描画エンジンにBrainstorm eStudio Ver.15を採用。Mo-Sys社リアルタイムカメラトラッキングシステムStarTrackerを併用してのバーチャル運用を紹介するとともに、eStudio Ver.15でUnreal Engineとの連携(オプション)を紹介。

### □スーパースローモーションカメラ

B4マウントを搭載した4Kスーパースローモーションカメラをはじめ、HD切り出し装置やフラッシュ軽減装置などを展示。

● 12G-SDI対応フル4K高速度カメラ「FT-ONE-SS4K」: 2/3インチイメージサークルに対応し、フル4Kで1000フレームのハイスピード撮影が可能。HDR/広色域にも対応。

● 4K→HD切り出し装置「ZE-ONE」: 4K映像から任意サイズの切り出しポイントをHDコンテンツとして出力。指定オブジェクトをリアルタイムに自動追尾するオブジェクトトラッキング機能を搭載。

● リアルタイムフラッシュコレクター「RFC-ONE」: フラッシュ光による画面の明滅をリアルタイムに補正し、自動的に軽減可能。

### □その他各社輸入取扱製品を出展

## ◆三 友◆



ユーザーニーズに応える効率的なワークフローを実現する製品や撮影用ペリフェラル製品を出展した。

## □ 撮影・中継用機材コーナー

- 最高峰シネマレンズ『Leitz』:<NEW> LEITZ PRIME、<NEW>LEITZ ZOOM、<NEW>THALIA-T、M 0.8、MACROLUX 114,95 他
- 高品質シネマ用NDフィルター『TRUE ND』: 4×5.65 0.3、0.6、0.9、1.2、1.5、1.8、2.1 / 6.6×6.6 0.3、0.6、0.9、1.2、1.5、1.8、2.1
- DJI製品:プロフェッショナル向けドローン『INSPIRE2』、多機能ロボット『ROBOMASTER S1』、アクションカム『Osmo Action』
- 超小型放送用カメラ『Dream CHIP ATOM one』:<NEW>ATOM one mini Waterproof、<NEW>ATOM one 4K Waterproof housing、<NEW>Lenz Motor、ATOM one mini、ATOM one mini Air、ATOM one 4K
- あらゆる機材にタイムコードを『TENTACLE SYNC』:TENTACLE SYNC E
- 中継拠点を結ぶ4K・8K対応光伝送装置『THUNDERS』:<NEW>THUNDERS mini、<NEW>THUNDERS DWDM、THUNDERS CWDM
- 8Kコンテンツプレーヤー『Hyper CUBE』:MHP-8000

## □ 8K編集機材コーナー

- ハイエンドオンライン編集・カラー&フィニッシングシステム:<NEW> Grass Valley Rio 4K/8K

## □ その他機材コーナー

- オーディオ・ビデオIPモニタリングソリューション『Wohler』:Multi-Channel Audio - iAM Series -
- クロマキー不要のリアルタイムCG合成:『Sony Edge Analytics Appliance』、REA-C1000
- VRカメラシステム『KANDAO』:Obsidian、QooCam
- プロフェッショナル機材ケース:『PortaBrace』、『ORCA Bags』

## ◆ リーダー電子 ◆



新製品であるLV5900 8K 対応波形モニター、「ZEN シリーズ」に追加された4K-IP (25G) モニター/ジェネレーター、LT 4610 の8K 対応など、新製品の数々を出品した。

- ◇ [LV5900] 8K 波形モニター :7680 (8192)×4320/59.94P Y.Cb.Cr 10bit の8K 映像を12G-SDI QUAD LINK で受信する SMPTE ST 2082-12 に対応。8Kのみならず、4K入力やHD4入力同時にも対応する。
- ◇ [LT4610SER24] 8K オプション:LT 4610 にハードウェアオプションLT 4610 SER02 が実装されている場合に、12G-SDI 出力から8K パターンを出力する機能を追加するオプション。

- ◇ [LV5600-SER06/LV7600-SER06] 4K-IP 入力オプション:10 G/25G のIP 入力に対応するLV5600/LV 7600 用ハードウェアオプション。SMPTEST 2022-6/7、SMPTE ST 2110-20/30/40 に対応し、4Kのストリームもデコード可能。

- ◇ [LV5600-SER32/LV7600-SER32] 4K-IP TSG オプション:IP テストパターン信号発生機能に対応するLV5600/LV7600 用ライセンスオプション。4K、HD のテストパターンを発生可能です。また、IP パケットにジッターやエラーを付加して簡易的なストレステストが可能。

- ◇ [LV5600-SER30/LV7600-SER30] ビデオノイズオプション:LV5600-SER30/LV7600-SER30 は、入力されたSDI 信号の輝度信号、またはRGB 信号に含まれるビデオノイズを測定する機能を追加するLV5600/LV7600 用ライセンスオプション。

- ◇ [LF965]4K/8K 対応シグナルレベルメーター:日本国内における高度広帯域衛星デジタル放送(4K/8K 放送)、衛星デジタル放送(2K 放送)、および地上波/ CATV デジタル放送に対応したレベルメーター。従来の衛星、地上波、CATV デジタル放送はもちろん、高度広帯域衛星デジタル放送のレベル、BER、MER、C/N、コンスタレーション測定が可能。

- ◇ [ZEN シリーズ]LV5600/LV5300/LV 5350 波形モニター、LV7600/LV7300 ラスタライザー:4K/HD/SD-SDI 信号およびHD/SD のIP 信号に対応したハイブリッドタイプの波形モニター/ラスタライザー。

- ◇ [LT4610]シンクジェネレーター:トリプルレートSDI(3G-SDI/HD-SDI/SD-SDI) 信号発生も可能な同期信号発生器です。電源ユニットを2 個内蔵し、万一の電源故障に際して電源の二重冗長運転を行うことが可能。

- ◇ [TAGC PHABRIX]IP2110 対応ポータブル波形モニター:SFP 光IP 及びHD-SDI 入出力に対応した波形モニター。

- ◇ [VB440]IP PROBE:40 ギガビットIP プロブは、ST2110 およびST2022-6 で定義されているコア放送ネットワーク、プロダクションスタジオなどの監視及び分析が可能。

## ◆ ローランド ◆



自社ブース及び「INTER BEE EXPERIENCE X-Microphone」のコーナーの双方に出展。

### — 自社ブースでの出展製品 —

- ◇4K HDR マルチフォーマットスイッチャー『V-600UHD』:放送や映像制作と同じように、イベントやプレゼンテーションなどの演出も4K 化が進んでいる。一方で、クライアントや演出者からは従来の HD 機材の対応も同時に求められている。V-600UHD はそうした現場のニーズに合わせ、従来の HD 環境を段階的に 4K に対応させることが可能。全ての入出力端子にローランド独自の「ULTRA SCALER」を搭載。この機能によりフル HD と 4K の異なる映像を同時に扱えるだけでなく、4K と HD 映像も同時に出力できるので、従来の HD ワークフローの中に4K 映像を取り込める。

- ◇ユーザーのフィードバックを受け進化した『VR-50HD MK III』:ライブ配信、イベント、企業や学校内のスタジオなど多くのシーンで使用されているオールイン・ワンAV ミキサー『VR-50HD』が、ユーザーのフィードバックを受けMK2 に進化した。1 人で簡単に操作ができるコンセプトはそのままに、操作性を更に向上させたビデオ・スイッチャー、音質と機能を全面的にブラッシュ・アップしたオーディオ・ミキサー、好評のタッチパネル・モニター、パソコンと簡単に接続ができるUSB3.0 端子などを備え、映像・音声コンテンツ制作に幅広い活用が可能。

### — INTER BEE EXPERIENCE X-Microphone コーナーでの出展製品

Aston Microphones 社のマイクロフォンを展示。「Origin」「Spirit」に加え、ブロードキャスト品質を実現した、全く新しいコンセプトのダイナミック・マイク「Stealth」を展示。マルチ・ボイス・ダイナミック・マイクロフォンの「Stealth」は、ボーカル録音から楽器の録音まで幅広い用途に対応可能なマルチボイス・パターン、単体でゲインブースト可能なファンタム電源で駆動する高性能なClassA マイク・プリアンプ内蔵、ソルボセイン素材を使用することでさらに進化した内蔵ショック・マウントなど、放送業界で通用する品質を全く

P.14 へ続く ▶

▶P.13より

新しいコンセプトで実現したダイナミック・マイク。

Aston Stealth :ブロードキャスト品質を実現した、全く新しいコンセプトのダイナミック・マイク。多くのアーティスト、エンジニアより好評頂いているAston Microphonesのマイクに新しいラインアップが登場。ボーカル録音から楽器の録音まで幅広い用途に対応可能なマルチボイス・パターン、単体でゲインブースト可能なファンタム電源で駆動する高性能なClassAマイク・プリアンプ内蔵、ソルボセイン素材を使用することでさらに進化し

た内蔵ショック・マウントなど、放送業界で使用する品質を全く新しいコンセプトで実現したダイナミック・マイク。

Aston Spirit :「高音質」「堅牢性」「美しいデザイン」を実現し、指向性を変更可能な録音用コンデンサーマイク。

英国生まれのAston Microphones社。従来の開発工程を一から見直し、従来のコンデンサーマイクの常識を覆す「高音質」「堅牢性」「美しいデザイン」を実現。指向性を変えることができるAston Spiritはボーカル録音はもちろん、アコースティックギターやドラムなどの

幅広い楽器、さらにはオーケストラの録音までオールレンジに対応することができる。

Aston Origin :「高音質」「堅牢性」「美しいデザイン」を実現し、指向性を変更可能な録音用コンデンサーマイク。英国生まれのAston Microphones社。従来の開発工程を一から見直し、従来のコンデンサーマイクの常識を覆す「高音質」「堅牢性」「美しいデザイン」を実現。単一指向性のAston Originはボーカル録音はもちろん、アコースティックギターやドラムなど、幅広い楽器の録音に対応することができる。

## JAVCOM 運営会議便り

### 第269回運営会議

日時:令和1年11月27日(水)  
18:00~19:00

場所:一番町集会室 洋室A  
出席者:20名

#### 議題

#### 1. 会員動向(梶事務局長)

今回無し

#### 2. 協会催事進捗報告(各担当責任者)

- (1)InterBEE2019 結果報告(塩原委員長)
- (2)忘年の集い2019 進捗状況(新井理事)  
日時:2019年12月11日(水)  
18:00~20:00  
場所:渋谷セルリアンタワー東急B2F朝霧
- (3)新春セミナー&賀詞交換会(高瀬副理事長)  
日時:2020年1月28日(火)  
16:00~20:00  
場所:青学会館アイビーホール(アロナ・ナルド)
- (4)第158回 有料セミナー 進捗状況(関野ニュービジネス研究委員長)
- (5)役員選挙準備 選挙管理委員会設立(森澤常任幹事長)
- (6)通常総会 進捗状況(寺林副理事長)

#### 3. 各委員会報告

##### ■広報出版委員会(塩原委員長)

##### ◇活動報告

- (1)第6回目 InterBEE 2019 JAVCOMブース 最終打合せ  
日時:11月6日(水)18:00~  
場所:共信コミュニケーションズ株式会社 大崎  
出席者:大竹理事長以下7名  
議題:  
①InterBEE2019 JAVCOMブースでの映像  
②展示ポスター内容確認  
③ノベルティの最終確認  
④会員展示ブース内に協会案内印刷物の検討  
⑤InterBEE ツアー(学生対象)企画 人数確認  
⑥幕張メッセでの搬入・設置・搬出について

##### (2)JAVCOM ホームページの改善について

日時:11月11日(月)  
場所:日本電子専門学校にて改善案の打合せ議事録  
参加者:高瀬、田村、松村  
日本電子専門学校:小山内・関根先生、須永・真田SE

##### 議題:

- ①フォームの確認
- ②11/30までに新サーバー(ロリポップ)にアップしPC上で確認、修正点の洗い出し
- ③今後の予定  
次回12月16日(月)16:00日本電子専門学校にて最終打ちあわせ  
1月中に新サーバーにて新バージョンで運用開始  
旧サーバー契約は1月末で解約予定
- (3)JAVCOM NEWS 136 発行(11月末日予定)  
①第156回セミナー “最先端技術で、見えないものが見えてくる!!”  
②特別企画 株式会社キュー・テック30周年を迎えて  
③技術研究委員会 7月度勉強会勉強会&定例会 “環境スペース勉強会” 失敗しない防音室の作り方  
④JAVCOM運営会議便り

##### ■ニュービジネス研究委員会(関野委員長)

##### ◇活動報告

- (1)10月勉強会  
日時:令和1年10月28日(月) 16:00~  
場所:共信コミュニケーションズ 4階会議室  
議題:NHK技研 スマートプロダクション研究部の講師による「AI技術による番組制作支援と視聴者へのサービス展開〜スマートプロダクション」  
出席者:28名
- (2)第82回ニュービジネス委員会定例会  
日時:令和1年11月20日(水) 19:00~(日時調整中)  
場所:東洋レコーディング(株) 3F会議室  
議題:No.158有料セミナーの講演内容提案~決定  
テーマはeスポーツについて  
Eスポーツ連合、サードウェーブ、コナミ、テレビ朝日などに講演の交渉開始

##### ◇活動予定

- (1)No.158有料セミナーに向けた活動【随時】

##### ※下記は12月中実施項目

- ①開催日確定(3月11日前後で調整中)
- ②セミナー計画書(スケジュール、収支計画の策定など)
- ③講演内容の概要決定、登壇者確定
- ④後援団体承諾依頼資料の作成
- (2)第83回ニュービジネス委員会定例会&忘年会  
日時:令和1年12月18日(水)又は23日(月)  
※調整中 18:00~  
場所:しゃぶしゃぶ鉢の木(予定)  
議題:No.158有料セミナー進捗報告など

##### ■技術研究委員会(新井委員長)

##### ◇活動報告

- (1)第237回定例会&11月度勉強会  
日時:2019年11月7日 15:20~17:30  
場所:フジテレビ 新マスター  
内容:フジテレビジョン 新マスター/インジェストセンター見学会  
参加者:33名
- ◇活動予定  
(1)J D S F 合同セミナー 打合せ  
日時:2019年11月28日 16:00~17:00  
場所:三友株式会社

##### ■ソフト制作研究委員会(吉田委員長)

##### ◇活動報告

- (1)InterBEE 2019 JAVCOMブース出展  
①10/24(木)出展打合せ  
場所:共信C様・大崎  
②11/06(水)出展打合せ  
場所:共信C様・大崎  
③11/13(水)「InterBEE2019企業ブース見学&説明ツアー」実施  
参加学生 ⇒ 25名(東放学園1年生のみ)  
音響系:13名(HIBINO ⇒ YAMAHA ⇒ Roland)  
映像系:12名(SONY ⇒ Blackmagic Design)  
反省点:学生申し込みは、学校宛とする
- (2)10月勉強会開催。  
《モーションキャプチャスタジオ見学会》  
(株)ダイナミックチャーズ  
場所:(株)ダイナミックチャーズ本社  
所在地:東京都千代田区神田淡路町2-21 淡路町MHビル  
日時:2019年10月29日(火)  
16:30~18:00 その後懇親会開催

勉強会参加者:11名  
懇親会参加者:8名(講師含む)  
◇活動予定  
(1)12月勉強会(日程等調整中)  
テアトル・エコー公演 158「IS HE DEAD(イズヒーデッド)?」～画家ミレーの知られざる秘密!?～観劇会  
日時:2019年12月5日(木)～17日(火)  
(2)調整中の勉強会  
①「障がい者雇用セミナー」 ②「空周演出」  
③「スタジオ・エコー“アフレコ現場”見学」  
他  
4. 第197回常任幹事会報告(森澤常任幹事長)  
日時:令和1年11月27日(木)  
16:30～17:30  
場所:一番町集会室 洋室A  
議題:(1)協会催事  
①InterBEE2019 結果報告  
②JAVCOM忘年の集い2019 進捗状況  
③新春セミナー&賀詞交換会 進捗状況  
④第157回有料セミナー 進捗状況  
⑤通常総会準備状況 選挙管理委員会設立  
(2)各委員会報告  
(3)10月度収支報告  
(4)その他 事務局報告  
次回第198回常任幹事会  
日時:12月19日(木)16:30～17:30  
場所:麴町区民館 洋室C  
5. その他 (事務局・寺林運営委員長)  
事務局  
(1)予定  
12/11(木) 忘年の集い  
01/25(土) 第69回JAVCOMクラシック  
開催  
寺林運営委員長  
(1)運営会議提起事項  
①第264回運営会議提起事項状況報告及び  
検討実施再確認  
J-NEWS内会員各社紹介ページ原稿フォー  
マット決定  
広報出版委員会の準備出来次第、毎回2社  
掲載

次回常任幹事会  
12月19日(火)16:30～ 麴町区民館 洋室C  
1月22日(水)16:30～ 麴町区民館 洋室C予定

次回運営会議  
12月19日(火)18:00～ 麴町区民館 洋室C  
1月22日(水)18:00～ 麴町区民館 洋室C予定

#### ■■■■第270回運営会議■■■■

日時:令和1年12月19日(木)  
18:00～19:00

場所:麴町区民館 洋室C

出席者:15名

#### 議 題

1. 会員動向(梶事務局長)  
今回なし
2. 協会催事進捗報告(各担当責任者)  
(1)JAVCOM忘年会の集い2019  
報告(新井理事)  
2019年12月11日(水)

セルリアンタワー東急ホテル  
参加申込 69名  
参加者 69名  
(2)新春セミナー&賀詞交換会  
進捗状況(梶事務局長)  
(3)第158回 有料セミナー  
進捗状況(関野委員長)  
(4)通常総会準備状況(梶事務局長)  
(5)選挙管理委員会設立  
計画予定表(森澤常任幹事長)

#### 3. 各委員会報告

##### ■広報出版委員会(金指副委員長)

- ◇活動報告  
(1)JAVCOM NEWS 関係  
次号JAVCOM NEWS は2020年1月15  
日に137号を発行予定  
①新年の挨拶(大竹理事長)  
②JAVCOM InterBEE2019に出展  
③会員社InterBEE2019 出展概要  
④JAVCOM2019忘年の集い  
⑤ソフト制作研究委員会 10月度 勉強会  
モーションキャプチャスタジオ見学会  
⑥運営会議より  
⑦新連載として会員紹介ページを設ける  
(麻布プラザ・アスク)  
(2)ホームページリニューアル関係  
①ロリポップサーバーの仮契約(田村理事)  
②12月初旬にトップページ用の動画が完成  
③12月16日に日本電子専門学校にて打合せ

##### ■ニュービジネス研究委員会(関野委員長)

- ◇活動報告  
(1)No.158有料セミナーに向けた活動  
①開催日を3月17日(火)にて決定  
富士フィルム西麻布ホールを13:00より  
予約  
②サードウェーブ様との打合せ  
登壇の依頼及び日本eスポーツ連合様へ  
のコンタクト依頼  
③コナミデジタルエンタテインメント様、テ  
レビ朝日様へのコンタクト依頼

#### ◇活動予定

- (1)No.158有料セミナーに向けた活動【随時】  
①セミナー計画書(スケジュール、収支計  
画の策定など)  
②講演内容の概要決定  
③後援団体承諾依頼資料の作成  
(2)第83回ニュービジネス委員会定例会&忘年会  
日時:令和1年12月23日(月) 18:00～  
場所:しゃぶしゃぶ鉢の木(予定)  
議題:No.158有料セミナー進捗報告など  
(3)ニュービジネス研究委員会主催ゴルフコ  
ンペ/第14回NBC Cup  
日時:令和2年2月8日(土)  
場所:真名カントリークラブゲイリー・ブ  
レイヤーコース(GPコース)

##### ■技術研究委員会(新井委員長)

- ◇活動報告  
(1)J D S F 打合せ  
日時:2019年11月28日 16:00～17:00  
場所:三友株式会社 10F  
内容:J D S F 合同セミナー打合せ  
参加者:JDSF 3名 JAVCOM 1名

#### ◇活動予定

- (1)J D S F 打合せ 4班担当  
日時:2020年2月25日の週に実施予定  
内容:5Gに関する政策の最新動向  
場所:未定

##### ■ソフト制作研究委員会(金指広報副委員長)

- ◇活動報告  
(1)定例会開催  
日時:2019年12月10日(火)  
内容:今後の勉強会についてプレスト  
参加者:6名(吉田、佐藤、村松、竹治、須藤、  
金丸)  
◇活動予定  
(1)定例会開催  
日時:2020年1月15日(水)  
場所:スタジオ・エコー(仮)  
(2)調整中の勉強会  
①障害者雇用  
②3Dリアリタイムグラフィック  
③アフレコスタジオ見学(エコー様)  
④ビデオグラファー

#### 4. 第198回常任幹事会報告(森澤常任幹事長)

日時:令和1年12月19日(木)  
16:30～17:30

場所:麴町区民館 洋室C

議題:

- (1)協会催事  
①JAVCOM忘年の集い2019 結果報告  
②新春セミナー&賀詞交換会 進捗状況  
③第158回有料セミナー 進捗状況  
④通常総会準備状況 選挙管理委員会設立  
計画予定表  
(2)各委員会報告  
(3)11月度収支報告  
(4)その他 事務局報告  
次回第199回常任幹事会  
日時:令和2年1月22日(水)16:30～17:30  
場所:麴町区民館 洋室C

#### 5. その他 (事務局・寺林運営委員長)

- 事務局(梶事務局長)  
12/27(金) 事務局仕事納め  
01/06(月) 事務局仕事始め  
01/25(土) 第69回JAVCOMクラシッ  
ク  
01/28(火) 第157回新春セミナー&賀詞  
交換会  
03/17(火) 第158回有料セミナー

寺林運営委員長

- (1)運営会議提起事項  
第269回運営会議提起事項状況報告及  
び検討実施再確認

次回常任幹事会

令和2年1月22日(水)16:30～  
麴町区民館 洋室C

2月18日(火)16:30～  
麴町区民館 洋室C予定

次回運営会議

令和2年1月22日(水)18:00～  
麴町区民館 洋室C

2月18日(火)18:00～  
麴町区民館 洋室C予定

# ゆく年、くる年 「JAVCOM 2019 忘年の集い」



小室哲也さん&佐藤公彦さんの  
名コンビによる司会進行



開催あいさつ  
大竹 和夫 理事長

平成から令和になった1年間の苦勞<sup>ねがら</sup>を労い  
2020 オリンピックイヤーに向けて  
鋭気をやしなう忘年の集いとなりました



新入会員紹介  
梅田智史さん



新入会員紹介  
新谷 収さん



閉会あいさつ  
高瀬義美さん



阿部正吉さん 二口善乃さん 金丸幹夫さん 梶 光年  
事務局長

「JAVCOM 2019 年忘年の集い」は、2019年12月11日（水）、18:00より、渋谷セルリアンタワー東急ホテルのB2Fの宴会場「朝霧」で盛大に行われました。

令和に元号が変わった今年は、昨年に続き渋谷のセルリアンタワー東急ホテルに場所を移して行われました。

また、恒例のプレゼント交換会と美味しいお料理に大いに盛り上がり、ビール、選ばれたワインやお持ち込みのワイン、日本酒などのフリードリンクに会話もはずみ、年末の忙しい時も忘れて存分に楽しむことができました。

JAVCOM 会員のコミュニケーション交流の場として、ワイワイ・ガヤガヤと楽しい集いで、ウキウキ・ドキドキのプレゼント交換大抽選会も引き続き開催されました。

先輩たちが創り上げてきた「おもしろい」JAVCOM を引き継いでの忘年の集いに、参加者は皆、笑顔・笑顔で「JAVCOM2019 忘年の集い」で楽しい時間を過ごしました。



「正調」中締め  
阿部 正吉さん